

中期経営計画期間における配水状況・財務状況

平成23年12月公表
(平成22年度実績)

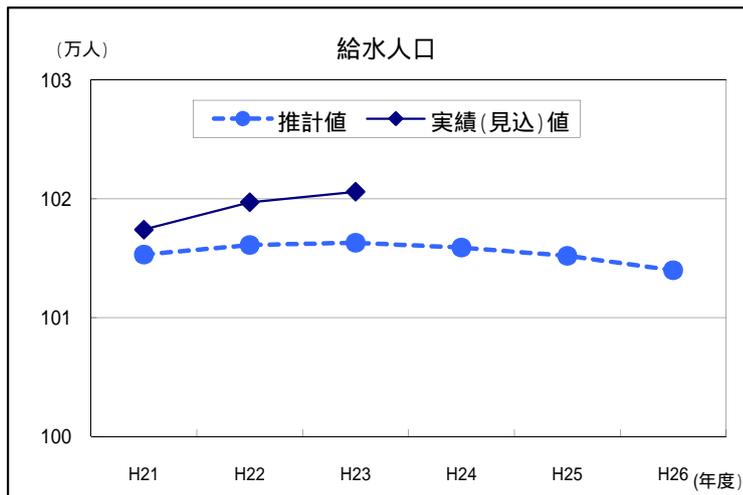
1. 配水状況

〔1〕配水実績と計画

項目	年度	【参考】	中期経営計画期間				
		計画前年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
		平成21年度	平成22年度	平成23年度			
		(実績)	(実績)	(見込)			
給水人口 (人)		1,017,407	1,019,713	1,020,600			
一日平均配水量 (m ³ /日)		334,956	335,936	327,460			
一日最大配水量 (m ³ /日)		373,452	380,824	366,640			
年間総配水量 (m ³)		122,259,082	122,616,563	119,850,360			
年間有収水量 (m ³)		113,727,363	114,855,582	108,138,360			

〔2〕中期経営計画策定時の推計値と現況との比較

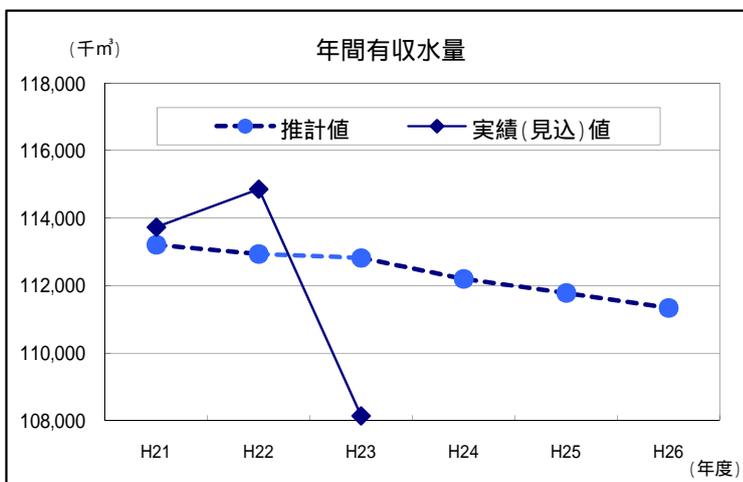
給水人口



平成22年度実績値は、推計値よりも約3,600人増加しています。



年間有収水量



平成22年度実績値は、夏場の猛暑の影響により、推計値よりも約190万m³増加しています。
なお、平成23年度見込値は、東日本大震災の影響により、推計値を大幅に下回っています。



上記、の推計値は、中期経営計画に掲載している配水計画値(平成22年1月推計)です。
上記、の実績(見込)値のうち、平成21年度及び22年度は実績値、平成23年度は見込値です。

2. 財務状況

〔1〕収益的収支の状況

(単位:百万円)

区分		年度	【参考】 計画前年度	中期経営計画期間					
				平成21年度 (実績)	平成22年度 (実績)	平成23年度 (見込)	平成24年度	平成25年度	平成26年度
収益的 収支	収入	給水収益	25,017	25,101	23,425				
		水道加入金	763	779	748				
		他会計補助金	390	444	623				
		その他	1,124	1,003	1,078				
		計	27,294	27,327	26,160				
	支出	人件費	3,724	3,807	3,807				
		物件費	5,062	4,976	5,663				
		受水費	7,547	6,947	7,058				
		減価償却費	7,063	7,120	7,183				
		支払利息	2,217	2,006	1,928				
		その他	891	797	769				
	計	26,504	25,653	26,408					
	当年度純損益(税込み)		790	1,674	248				
	当年度純損益(税抜き)		585	1,429	679				
累積欠損金		2,882	1,453	2,132					

消費税及び地方消費税込みの額です。ただし、当年度純損益(税抜き)、累積欠損金については消費税及び地方消費税抜きの額です。

平成23年度の収益的収支に、地方公営企業法第26条の規定による前年度からの繰越額を加えると、次のようになります。
当年度純損益(税込み) 459、当年度純損益(税抜き) 879、累積欠損金2,332

〔2〕資本的収支の状況

(単位:百万円)

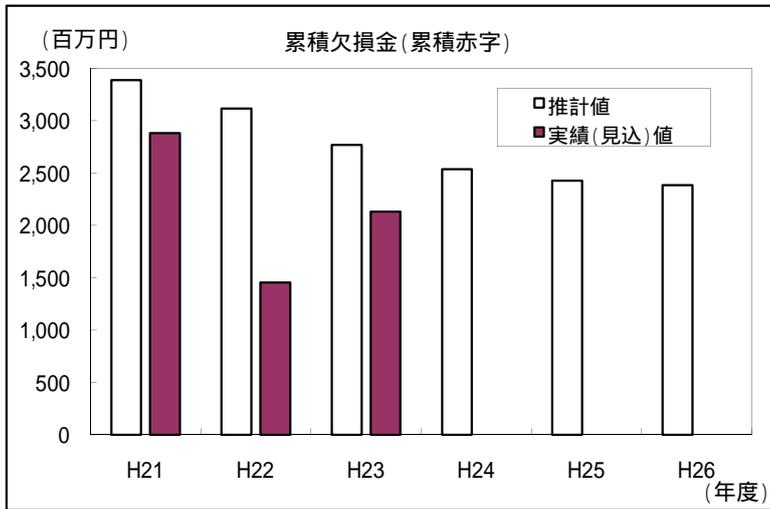
区分		年度	【参考】 計画前年度	中期経営計画期間					
				平成21年度 (実績)	平成22年度 (実績)	平成23年度 (見込)	平成24年度	平成25年度	平成26年度
資本的 収支	収入	企業債	5,147	2,376	3,000				
		出資金	569	446	511				
		国庫補助金	290	155	86				
		その他	570	422	413				
		計	6,576	3,399	4,010				
	支出	建設改良費	5,296	5,804	6,706				
		企業債償還金	7,988	5,320	5,473				
		その他	0	128	236				
	計	13,284	11,252	12,415					
	収支差額		6,708	7,853	8,405				
補てん財源		9,197	10,610	9,790					
累積資金剰余額		2,489	2,757	1,385					
企業債残高		82,368	79,424	77,434					

消費税及び地方消費税込みの額です。ただし、補てん財源、累積資金剰余額及び企業債残高については消費税及び地方消費税抜きの額です。

平成23年度の資本的収支は、地方公営企業法第26条の規定による前年度からの繰越額を含まない額です。

[3] 中期経営計画策定時の推計値と現況との比較

累積欠損金(累積赤字)



平成22年度実績値は、推計値よりも約16億6千万円減少しています。財務状況の健全化が進んでいることがわかります。

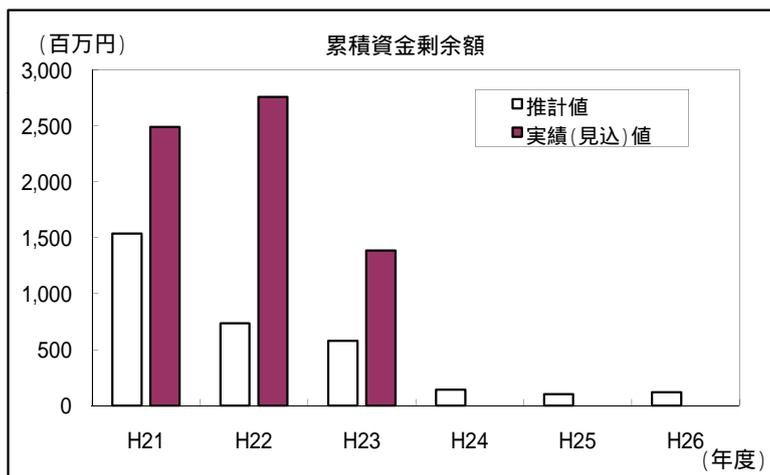
なお、平成23年度見込値は、推計値を下回っているものの、東日本大震災の影響により、前年度から増加しています。

累積欠損金

営業活動の結果生じた欠損金(一般的な赤字にあたる)が当該年度で処理できずに、複数年度にわたって累積したもので



累積資金剰余額



平成22年度実績値は、推計値よりも約20億2千万円増加しており、事業運営に必要な資金を確保しています。

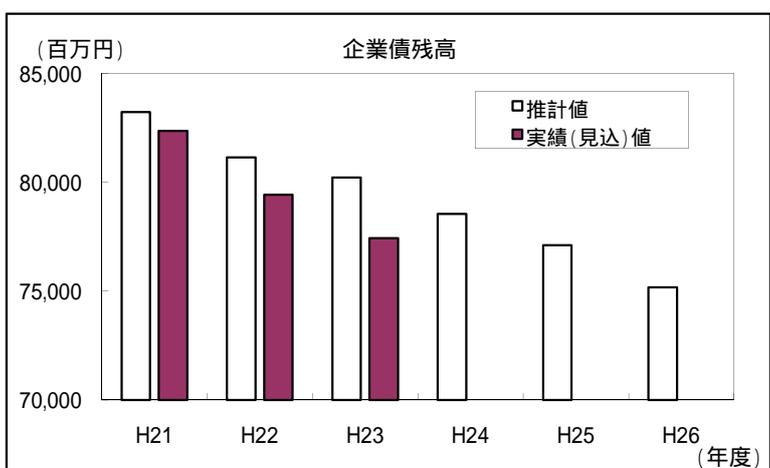
なお、平成23年度見込値は、推計値を上回っているものの、東日本大震災の影響により、前年度から大きく減少しています。

累積資金剰余額

水道施設などの建設や更新等に使用可能な自己資金が複数年



企業債残高



平成22年度実績値は、推計値よりも約17億2千万円減少しています。財務状況の安全性が高まっていることがわかります。

企業債

水道施設などの建設、改良などに要する資金に充てるために発行する地方債で、一般企業における社債及び長期借入金にあたります。



上記 ~ の推計値は、中期経営計画に掲載している財政収支計画値(平成22年1月推計)です。
上記 ~ の実績(見込)値のうち、平成21年度及び22年度は実績値、平成23年度は見込値です。